

藤田商事

東北支店を全面刷新

6億円投資、切断能力5割増

藤田商事(本社・千葉県浦安市、社長・藤田忠義氏)は、15年3月完成予定で東北支店(仙台市若林区)を全面的に建て替え、構造用鋼の切断加工能力を5割増強して、短納期・高精度化ニーズへの対応力を高める。超硬刃丸鋸盤では日本初となる材料自動供給・切断品自動仕分け装置搭載のシステム丸鋸盤など最新鋭の切断機、立体自動倉庫も導入し、工場部門を「東北鉄鋼センター」に位置付ける。総投資額は約6億円。

同社は構造用鋼流通大手で、本社、北関東・茨城・東北・神奈川支店で構造用鋼の切断・加工販売を行い、本社、名古屋営業所でK8割だが、他支店より

ASTO社の日本総代理店として切断機、立体自動倉庫などの機械販売も行う。東北支店は1983年開設で、東日本大地震で被害を免れたが、工場建屋の老朽化が進

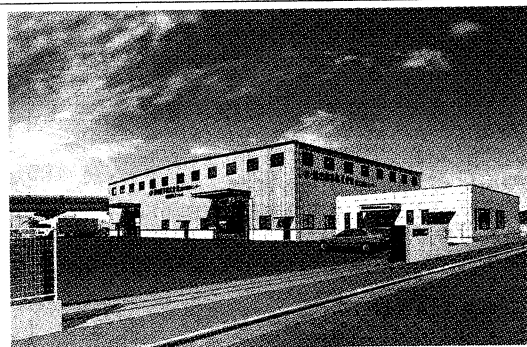
は仲間売り比率が高み、業容の拡大に伴い手狭となったため、敷地内(7933平方メートル)で建て替える。新建築は1859平方メートルで現状より5割広くなる。

JFEグループが初出展

「建設技術展2014近畿」

JFEグループは今月29、30日に大阪市中央区のマイドーム大阪で開催される「建設技術展2014近畿」に初出展する。8分野の技術展示のうち「防災」分野へ出展し、技術開発の交流および促進を図る。

出展するのはJFEスチール、JFEエンスチール、JFEエンジニアリング、JFE建材、ジェコス、JFEシビル、JFEテクノリサーチ、JFE商事テールワン。



東北鉄鋼センターの完成予想図

15年5月ごろに工場見学会(フライベートフェア)を開催する予定。

全自動帯鋸盤数台を移設し、数台は撤去する。

15年5月ごろに工場見学会(フライベートフェア)を開催する予定。

設計・施工はJFEシビル。切断設備では最大切断径150mmのシステム超硬刃丸鋸盤「KAS Tovarisped C15」、能力117トンを新設。同430mmのシステム

帯鋸盤「KASTOtech」、物流機器では切断残材保管用の立体自動倉庫「KASTO UNIFORMER30」(最大保管能力117トン)を新設。現有の定尺材クレードル立体保管システム、全自動帯鋸盤数台を移設し、数台は撤去する。